

《小学校高学年の部 優秀賞》

「特別な人生」

有田市立箕島小学校 5年

かきした
垣下 昂駕 さん

今年、「新型コロナウイルス」というとても手ごわいウイルスが発生しました。そのため、昨年までとはちがう特別な一年を過ごすことになってしまいました。

とても世間が大変な一面、家で過ごす時間がふえました。だから、ぼくは家での時間に何かできると思い、かべとう立の練習や家のお手伝いを進んでしました。すると、かべとう立ができるようになり、一人でチャージャーハンを作れるようになりました。洗たくものをほしたりたんだりもしました。

新型コロナウイルスのえいきょうで、休校になって友達に会えなくなりさびしい思いをしたり、旅行に行けなくなつて楽しい行事もなくなってしまいました。だからこそ、友達と会えてとてもうれしかったです。改めて友達のいるうれしさやほこらしさを感じました。

世界中の人間が、新型コロナウイルスが出てとても大変な思いをしています。そんな中今まで通りにめいわくがかかる行いをしている人がいます。自分がどうなつてもよくても、他人の人生を考えてみて下さい。相手は平和に生きてたくても、めいわくがかかり相手の人生を終わらせてしまうかもしれません。とにかく、今は感染予防を少しでも人の命を救うことが最ゆう先です。もっと、いまのこのじょうきょうにきき感を持ちながら生きていってほしいです。

東京都では、毎日約二百人が新型コロナウイルスにかかることが当たり前になってしまっています。それをなくすためには、少しでもいいので、今まで以上に新型コロナウイルスに気をつけて下さい。今、ぼくにできる最大の感染予防は、「消毒・手洗い・うがい・かん気」です。地いきの人間や家族の健康もとても心配になります。こんな時期でも家族は休まず働いてくれています。だから、ぼくも宿題や感染予防をがんばります。

新型コロナウイルスは、誰かがかん気などの感染予防をしていなかったりするから、どんどん感染者がふえているのだとぼくは思います。今までもたくさんウイルスや病気が出てきました。しかし、先祖達は乗りこえてきました。だからぼく達もこのききを乗りこえていって、生命を受けついでいきましょう。そうすれば、自分達の子ども、自分達にも未来ができます。それをくり返すことで、地球に人間は存在し続けます。みんなそれぞれ特別な人生を生きています。おたがいに助け合っていけば、このききもきつと乗りこえられると思います。